

北から南から

平成24年度 「PCセミナー」の開催(出前講座)

平成25年2月8日北見工業大学にて、「PCセミナー」を開催しました。これは、「北海道土木技術会コンクリート研究委員会」と共催し行われたもので、設計コンサルタントの協力を得ながら同大学をはじめ道内の4大学、2高専を対象に実施しました。

これは、北海道内の土木工学を学ぶ学生に、PC技術あるいはPCの先端技術について講習会を行いPCについての興味と理解を深めてもらう事を主旨としています。講習会は2時間程度で梁の模型を使った説明や身近な北海道の橋梁を紹介して、PCに関心を持つてもらえるように工夫を凝らしています。また、業界の若手技術者(主には同学出身者)が社会人としての体験談を講話する企画は、身近な先輩の話が聞くことができるということで、学生はもとより先生方からも好評を得ています。なお、当協会の北海道支部では平成7年から毎年行っています。



PCセミナー風景

平成24年度高校生 「橋梁模型作品発表会」

平成25年2月21日(木)仙台市青葉区のアエル5階仙台情報・産業プラザ多目的ホールにおいて高校生「橋梁模型」作品発表会審査会が行われました。今年度で11回目の開催となり、東北6県の20校42作品の応募の中から一次審査を通過した12作品が展示され、審査員と一般の方々の投票によって受賞作が決定されました。

最優秀賞には青森県立尾上総合高等学校(青森県平川市)が制作の「タワーブリッジ」が選出され平成23年度に続いて2年連続の受賞となりました。受賞作品への表彰は、実行委員長のPC建協 益子東北支部長より行われました。



受賞者一同

各支部災害協定締結

PC建協各支部では、各地方整備局、地方自治体をはじめ各高速道路会社などの道路管理者との間で災害協定の締結を行っております。協定締結機関数は、平成24年度までに31団体となりました。協定は、橋の被災状況の調査や技術的助言、被災個所の応急対策工事などが主な内容となっております。



茨城県との調印式

